

EA733EB グリース鉄粉濃度チェッカー

特長

- サンプルケースに採取したグリースを入れ、濃度計にセットするだけで測定できるので、操作と手入れが簡単です。
- 軸受内のグリースに含まれる金属磨耗粉を測定することで振動値が高くなる前の段階での磨耗状態が確認可能。
- 低速回転機・可変速回転機に使用可能。
- 測定にかかるランニングコストは電池代のみ。
- サンプルグリースを挿入するだけなので、現場での測定が可能。
- 最小分解能0.001%(Wt)の微量検出が可能。

用途

- ・グリース潤滑の軸受、歯車などの磨耗状態の簡易診断および傾向管理に。
- ・フェログラフィ法^{※1}、SOAP法^{※2}の事前予備診断。



● サンプルグリース導入口



● 携帯ケース付



ケースサイズ…90(W)×45(D)×193(H)mm



グリース
サンプル
ケース



仕様

検知原理	磁気バランス式電磁誘導法
検知対象	グリース中の鉄粉濃度
測定範囲	0～5.00%(Wt)
分解能	0.001%(Wt)
必要サンプル量	約0.8ml
使用温度範囲	0～40℃
電源	単3電池×4本(付属)
連続使用時間 ^{※3}	アルカリ乾電池使用時:約30時間
サイズ/重量	84(W)×40(D)×190(H)mm / 約500g(電池含む)
付属品	携帯ケース、グリース採取ヘラ、グリースサンプルケース(10個)

※1:フェログラフィとは、油中の摩擦粒子を磁石で捕集し、その粒子の形状から発生部位の磨耗量や磨耗形態を診るシステムの事です。現在は主に設備診断法の1つとして軸受や減速機などの故障予知に効果を発揮します。また、故障解析や潤滑油の性能評価などにも使われます。

※2:SOAP(Spectrometric Oil Analysis Program)法は磨耗粉を金属元素でとらえ、機械から採取された試料油を燃やし、光を出します。金属元素によって出てくる光の波長が異なるので、磨耗した金属材料の特定ができます。これから、磨耗した機械の部位の推定ができます。

※3:環境条件、使用条件、保存期間、電池メーカーなどにより異なる場合があります。